

「自分らしく生きるとは?」「多様性を認め合うとは?」 —「第18回連合鳥取男女平等参画学習会」開催—



写真上/講師 清水展人さん

あいさつする田中穂会長

自治労・稲田いずみさん

フード連合・井上孝江さん

質問する参加者

まとめ・森田香里
男女平等局長

■講演より抜粋 ~知ってください&一緒に考えてみてください~

- ①性の多様性について理解する指標として、性的指向・性自認・性表現・性的特徴の4つがある。男性だから、女性だからこうあるべきだという「性のあり方」に当てはまらない人を性的少数者(性的マイノリティ)という。性的少数者だとカテゴライズするのではなく、人の数だけセクシュアリティがあり、グラデーションがある。それは尊重されるべき。
- ②性的少数者の人は、100人当たり12.5人程度存在すると想定される(8%程度)。AB型の血液の人や左利きの人と同じくらいの割合だといわれている。
- ③誰もがカミングアウトできるわけではない。また、見た目だけではわからないため、決めつけないことが大事。安心して話せる職場・労働組合作りができているか、見直しが必要。そして、相談を受けたときに、「性別に男・女だけではなく、グラデーションがある」ということを知っていてほしい。
- ④トランスジェンダーの方(出生時の性別と性自認が異なる人)はトイレや更衣室使用で悩み、生きづらさを感じている人が多い。多目的トイレの必要性を感じる。トランスジェンダーも個性。人はこうあるべきと決めつけず、多様な生き方を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会へ。
- ⑤認知状況も年々変化している。学校の教科書にLGBTについて掲載され始め(2017年頃~)、10代、20代には浸透しつつあるが、教育を全く受けていない30代以上にはぜひ知ってもらいたい。知らないことが偏見につながる。相手の気持ちになり考え、どうなればお互い自分らしく生きられるかわかるはず。

講演 『自分らしく生きる』
 一般社団法人 日本LGBT協会
 代表理事 清水展人さん

清水さんは幼いころから自分の性別に違和感を持ちながら高校生まで過ごされ、18歳の時「性同一性障害」と診断されたそうです。自分が「何者なのか」という葛藤の中で自分らしく生きるという葛藤の中で手術を受け、その後、意し、海外で手術を受け、その後、名前と性別の戸籍を変更し、男性として生きてこられています。

講演を聞いた後、3人の方から「多様性を認める環境づくりについて」などの質問があり、一緒に考える有意義な研修となりました。講演の中で「性のグラデーション」という言葉を繰り返しておられ、「それぞれが違った性を持っている」ことを胸に刻んでいきたいと感じました。

また、参加者からは、「非常に良い講演で、感動した」「自分らさとは何か?」を考える良い機会になった」などの声をいただきました。

連合鳥取は6月11日(土)、ハワイアロハホール(湯梨浜町)に97人(内女性40人・女性参加率41.2%)が結集し、「連合鳥取第18回男女平等参画学習会」を開催しました。

一般社団法人日本LGBT協会代表理事の清水展人さんを講師に招いた講演と、自治労とフード連合から事例報告がありました。

voice 参加者の声

電機連合・旭東電気労働組合 山本久美さん

ここ数年のメディア報道により、「性的マイノリティ」ということが世の中に周知されてきた感じもあるが、まだ日本社会の風潮により、打ち明けられず悩み苦しんでいる人も多くいると思う。

こうした方たちを少しでも減らすためには、様々な「違い」を「個性」と考え、認め合うことができる社会を実現することが必要だと思い、私には何が出来るかと考える機会となった。

全水道米子支部

吉岡純一郎さん

近年、世界中で多様性が重要視される中で、日本はLGBTや同性婚にまつわる法整備、女性の活躍推進について遅れているのが現状で、男女格差を数値化したジェンダー・ギャップ指数(GGI)は先進国の中で最低レベルになっている。

この問題を解決するには一人ひとりが身近にあるジェンダー問題に関心を持つことが重要だと感じた。

7月10日(日)参議院選挙投票日/期日前投票(7月9日まで)を利用して必ず投票に行こう!

男女平等月間(6月)特集

鳥取県・鳥取労働局に“雇用と生活における男女平等に関する要請”を実施

6月21日(火)、鳥取労働局と鳥取県へ「雇用と生活における男女平等」に関する要請を実施しました。

田中穂会長の発言(要旨)

コロナ禍に加え物価上昇など、不安定な雇用で働く労働者、特に女性への影響が大きいので取り組みを前進させたい。男女平等やジェンダー平等についてはすべての人々が支え合える社会を実現するため、鳥取労働局、鳥取県と連携し取り組んでいきたい。

鳥取労働局

鳥取労働局の山本浩司局長に要請書を手渡し意見交換を行いました。

山本局長からは「雇用を支える・働きを守ることは、連合鳥取の方向性と同じであり、引き続き連携をさせていただき、要請を真摯に受け止め、実現に向けて取り組みを行いたい」とのコメントを受けました。

鳥取県

全国知事会長でもある平井伸治鳥取県知事に要請書を手交しました。

平井知事からは「男女共同参画の取り組みは、労働者のみなさんと行政、そして職場のみなさんに協力をいただきながら、鳥取からモデルが発信できるよう全力で取り組みを行いたい」との力強いコメントをいただき、その後、意見交換を行いました。

鳥取市(7月5日)、境港市(7月6日)にも要請します!

今年度初めての取り組みとして、連合鳥取が推薦する市長の2市に対しても要請を実施します。



左から/山本鳥取労働局長、田中会長、森由香里男女平等局長、石原さやか執行委員、寺田真里副事務局長

左から2番目/平井鳥取県知事

“女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン”実施

6月7日(火)、8日(水)の2日間、連合鳥取事務局で、フリーダイヤル0120-154-052(いこうよれんごう)を使った労働相談受付を行いました。

各地域協議会役員によるポスティングや各市町村の広報への掲載などの事前PRの結果、鳥取県内で3件の相談が寄せられました。いずれも「パワハラ」や「嫌がらせ」などの相談で、働きやすい職場づくりの必要性を強く感じる結果となりました。

西部地協発／若者の活躍は社会を良くするために欠かせない!! —青女フォーラム「学習会」で再確認—



あいさつする宮根拓也委員長

6月10日(金)、米子コンベンションセンターに各産別から30人(うち女性8人・女性参画率26.7%)が集い、「青女フォーラム学習会」を開催しました。講師に前青女フォーラム委員長の門西慶和さん(UAゼンセン)を迎え、「青女フォーラムの役員を経験して学んだこと」と題して講演をいただきました。

講演では、労働組合の歴史や連合の紹介、また自身が経験した学習会や平和行動について、熱く語られました。

最後に青女フォーラムに集う仲間「活動を通じて知り合ったご縁を大切に、楽しみながら積極的に参画してください」と参加者にメッセージを送り、講演を締めくくりました。



講師/門西慶和前委員長

青年委員会発／「学習会」に26人参加し「平和」について学ぶ



あいさつする堀尾修也委員長

2022年2月24日に突如開始されたロシアによるウクライナ侵攻問題は国際社会の平和を揺るがし、侵攻に遭遇したすべての人々の日常を破壊し、今もなお終戦の兆しは見えない状況となっています。私たちの暮らしにおいて何よりも尊い平和について改めて感じ、考える重要な時期と考え、今回の学習会のテーマとしました。

■講演 「戦争遺構・証言集『その時、ここで』にまなぶ」
講師/鳥取県教職員組合 書記長 小谷明寛さん

これまで日本が体験した大戦の歴史、当時の世界観を交えながら、この鳥取の地での戦災について戦争遺構、証言をまとめた資料を用いて講話いただきました。

日本は戦後から77年を迎え、戦争の悲劇、悲惨さを学ぶことはありますが、直接の戦火に晒される事は幸いにしてありませんでした。平和の尊さと重みを再認識し、ロシアによるウクライナ侵攻問題の最中という事もあり、真剣に学ぶ雰囲気での学習会となりました。



写真上/講師 小谷書記長

今回の学習会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、青年委員会でも久しぶりの活動となりました。改めて、お互いを思いやる心を持ち、意見を交わして想いを伝え合うことが組合活動において大切な部分だと感じました。引き続き、青年委員会の活動にご理解とご協力をお願いします。〔寄稿 青年委員会副委員長 小谷透広さん〕

鳥取県労働局へ“最低賃金”に関する要請実施

6月21日(火)、田中穂会長と最低賃金審議会委員4人が鳥取県労働局へ出向き、山本浩司局長に「2022年度最低賃金行政に関する要請書」を手交し意見交換を行いました。

田中会長は「最低賃金については物価上昇の状況も踏まえ、早期に時給1,000円を実現させるべく、公労使および、事務局が一丸となって取り組みを進めていただきたい」と訴えました。



要請書手交
左から/山本局長 田中会長 北畑副会長
森執行委員 河村副事務局長

意見交換の様子

米子市議会議員選挙 結果

6月5日(日)投開票で実施された米子市議会議員選挙で、連合鳥取が推薦した3人の候補者は全員当選されました。連合鳥取推薦候補者のためご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

当選	いとう 伊藤 ひろえ (立憲民主党)	2,569票
	なかだ としゆき 中田 利幸 (JR連合)	1,784票
	あだち たかし 安達 卓是 (自治労)	1,350票

()は推薦依頼組織 (敬称略)



写真左から/伊藤 ひろえさん 中田 利幸さん 安達 卓是さん

特集 第26回参議院議員選挙 投票に行こう!

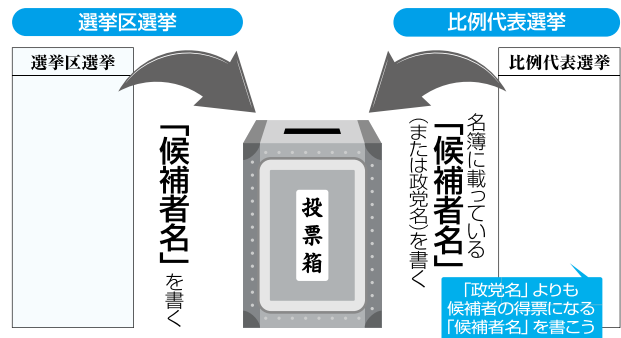
わたしプラスもう1票 第26回参議院選挙

投票に行こうよ!

みんなの未来

よくわかる・すぐわかる
参議院選挙の投票方法

動機も見てネ!



毎日が投票日

日	月	火	水	木	金	土
2022年	6月	20	21	22 (公示)	23	24 25
		26	27	28	29	30 7月 1 2
		3	4	5	6	7 8 9

期日前投票が可能な期間

10 ← 投票開票日 7月10日

投票に行けない方は期日前投票

理由はなんでもOK

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定がある方
- 旅行などの予定が入っている方
- 入院や出産などでその日に投票に行けない方

投票できる期間 | 公示日の翌日から投票日の前日まで
投票できる時間 | 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ・繰下げあり
投票場所 | 選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」
詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください。

新しい仲間“NX境港物流労働組合”を紹介します

6月1日付で「NX境港物流労働組合(20人)」が運輸労連に加盟され、連合鳥取の仲間に加わりました!!

【吉岡 誠執行委員長よりメッセージ】

6月1日より運輸労連に加盟しました、NX境港物流労働組合です。

連合・運輸労連と連携し、より良い職場環境を目指し、執行部と組合員が一体となって取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



左から/吉岡誠執行委員長 石井浩文副執行委員長

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

女性委員会「産別交流会」

- 日時** 2022年7月23日(土)
受付/9時15分~
開会/9時30分~11時50分(予定)
- 場所** 倉吉未来中心 リハーサル室
- 内容** ①「教えて!れんごうのこと。」クイズ&解説(45分)
講師:連合鳥取吉田正副事務局長
②ヨガ体験(60分)
- 参加要請** 各産別・単組1~2人程度
- 報告メ切** 7月12日(火) ※産別を通じて
- 準備物** 筆記用具、ヨガマット(お持ちの方)またはバスタオル、飲物(お茶・ミネラルウォーター) ※動きやすい服装でご参加を。



湯原俊二

—緑肥の想い—

岸田政権の中身は 安倍政権

岸田総理は、昨秋の自民党総裁選挙時に分配政策や金融所得課税など中間所得層の復活、新しい資本主義、ある意味でアベノミクスの転換を訴えていました。しかし、今ではアベノミクスを継承し、金融財政政策も安倍政権時と変わりません。その上、ウクライナ情勢を利用し、防衛費の倍増や反撃能力の保有さえ言及しています。

これは、自民党の国会議員の4分の1が安倍派で、岸田政権は安倍派、麻生派、岸田派で自民党の過半数を維持しており、安倍派抜きには岸田政権の維持ができず、安倍元総理のいいなりになっているからです。



部属解放鳥取県共闘会議
【第29回定期総会】
(2022.6.6)

参議院選挙はこれからの日本の在り方を左右します。安倍政権の政策を継承する岸田政権を倒すためにみんなで結集しましょう。

※インターネットで **衆議院TV** → **湯原俊二** を検索ください。
過去の発言風景がご覧になれます。

湯原さんのホームページもご覧ください

湯原俊二 **検索**

連合鳥取推薦議



連合鳥取【推薦議員団会議】
(2022.5.14)



JP労組鳥取連絡協議会
「ユースネットワーク・女性フォーラム
合同政治学習会」(2022.5.29)



QRコードからも
つながります

“ザ・議員”

ふくま ゆたか 福間 裕隆 鳥取県議会議員

田植えが一段落した6月11日に「福間ゆたか県政報告会」を開催しました。

西伯郡の町村後援会役員、JR西労組、そして長束博信南部町議会議員、大森英一・渡部勇伯耆町議会議員等30人のみなさんにご参加をいただきました。

湯原俊二代議士の来賓あいさつを伺いながら、働く人の代弁者として県民の想いを国政に反映させることが実現できたことの重み、大切さをしっかりと実感することができました。また、同僚の森雅幹県議会議員からも連帯のあいさつをいただきました。

2月議会での質問事項①古代淀江ロマン遺跡回廊構想と青谷上寺地遺跡整備について、②地方公共交通と地域の存続について、の2項目について報告を行いました。



福間ゆたか県政報告会 (2022.6.11)

あきやま ともひろ 秋山 智博 鳥取市議会議員

ロシア軍事侵攻について
(2022年 2・3月議会、3月1日に要望として問う)

【要望】 ロシアがウクライナに軍事侵攻した。国の主権を侵す明白な侵略であり、国際法を踏みじった。子供や多くの民間人の死傷者が出ているとの報道。直ちに停戦・撤退すべきだ。さらに、人道に反する究極兵器の核兵器の使用を示唆。

すぐさま、被爆地の広島・長崎市長は連名で抗議文を發した。本市も非核平和宣言都市として同様の取組の検討に入ることを要望する。

【答(市長)】 この度のロシアのウクライナ侵攻について要望ということで承りましたが、2月25日付で全国市長会も地方6団体と共同で、明らかにこれは国際憲章に違反する行為であると。断じて容認できない。このような旨の表明を行っている。



2・3月議会で質問する様子 (2022.3.1)

なんて人は繊細で単純な
んだらう。誰かの何気ない
言葉に傷つき、優しいひと
言に元気がみなぎる。私自
身、自分の弱さと対峙して
精神的自立を果たそうと挑
んできたが、やはり世の中
は支え合って生きていかな
ければ息の詰まるものであ
る▼出張先の電車内でのこ
と。私は荷物を抱えて席に
座っていた。そこに年配の
夫婦が乗り込んできたのだ
が、空いているのは私の隣
にある一席だけ。ご婦人が
隣に座ろうとしたので、私
はご主人に席を譲ろうと立
ち上がった。ところが次の
駅で降りるから大丈夫だと
笑顔でいう。私がどう話し
ても頑として座ろうとはし
なかつた。私は席に座り、申
し訳ない思いをしている間
に次の駅が近づいた。する
とご主人は私に「お気遣い
本当にありがとう」といつ
て笑顔で電車を降りていっ
た。私はなんだか心がほっ
こりした。私のほうこそ、あ
りがとうと伝えたい気持が
溢れ出た▼ときに言葉は人
をしあわせにする。
さあ、みんなであ
りがとうの輪を
つなごう。
(しろふね)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています